



アルテックグループ 新中期経営計画

2010年3月30日

アルテック株式会社

(注) 当資料に記載しております当社グループの計画は、発表日時点において把握できる情報をベースとした、当社の経営判断に基づいています。あくまでも将来の計画であり、「事業環境を取り巻く経済動向の変動」「為替の変動」「資本市場における相場の大幅な変動」他、様々なりスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性があることにつき、予めご承知おきいただきますようお願い申し上げます。

グループ事業区分の変更(2011年11月期より変更予定)

現在の事業区分	分野	該当する単体事業本部および売上高10億円以上の連結子会社((連)と表記)	新事業区分	該当する単体事業本部および売上高10億円以上の連結子会社((連)と表記)
卸売事業	産業機械・機器分野	<ul style="list-style-type: none"> デジタルソリューション事業本部 パッケージソリューション事業本部 インダストリアルソリューション事業本部 リサイクルソリューション事業本部 海外事業本部※ 	デジタルソリューションセグメント	<ul style="list-style-type: none"> デジタルソリューション事業本部 パッケージソリューション事業本部
	産業資材分野	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルソリューション事業本部 	インダストリアルソリューションセグメント	<ul style="list-style-type: none"> インダストリアルソリューション事業本部
	メディアパッケージ分野	<ul style="list-style-type: none"> パッケージソリューション事業本部 	リサイクルソリューションセグメント	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルソリューション事業本部 (連)アルパレット
	その他の分野	<ul style="list-style-type: none"> デジタルソリューション事業本部 リサイクルソリューション事業本部 	プリフォームソリューションセグメント	<ul style="list-style-type: none"> (連)愛而泰可新材料(蘇州) (連)愛而泰可新材料(広州) (連)PT. ALTECH(インドネシア) 海外事業本部※
製造事業	食品・飲料容器分野	<ul style="list-style-type: none"> (連)愛而泰可新材料(蘇州) (連)愛而泰可新材料(広州) (連)PT. ALTECH(インドネシア) 	その他	
	その他の分野	<ul style="list-style-type: none"> (連)アルパレット 		

※海外事業本部は、主に国内顧客に対するプリフォームとペットボトル等関連検査機の卸売事業を行っています。

新セグメント会計への対応を踏まえ、当社グループは2011年11月期より、取扱商品分野をキーとした新事業区分に変更する予定です。

- 卸売事業が中心であるデジタルソリューションセグメント、インダストリアルソリューションセグメント、リサイクルソリューションセグメントについては、創業以来、重化学産業、情報産業等の大手主要企業様に対して、最先端の産業機械等の商品やサービスを提供してまいりました。
- 製造事業が中心であるプリフォームソリューションセグメントについては、中国、インドネシアの製造工場において日々生産性の効率化に取り組み、積極的な営業活動を行うことにより、着実に利益を稼ぎ出す事業へと成長してまいりました。また今後も安定的に利益を生むことが予想されております。
- しかし、昨年度(2009年11月期)においては、昨今の不景気の影響によりデジタルソリューションセグメント、インダストリアルソリューションセグメントが大きく落ち込み、成長中であるプリフォームソリューションセグメントだけではその落ち込みをカバーできない状況となっております。

3カ年経営方針

[デジタルS、インダストリアルS、
リサイクルSの3セグメント]

経営リソース再配分の 推進による成長軌道への 回帰

今後高い成長の見込める分野への注力、なかでも特に高い成長が期待できるエコカーや太陽光発電関連、燃料電池関連などの、省エネ・環境に関連した商品に注力するとともに、今後高い成長の見込めない分野についてはオペレーションの効率化・最適化を図り、各取扱商品分野から安定して利益を創出できる体制を構築してまいります。

[プリフォームSセグメント]

適切な設備投資と着実な 成長

特に中国飲料市場の拡大によるペットボトル需要の伸びが予想されることから、投資効率性を重視した適切な設備投資を実行してその成長機会を活かしていくことに加え、更なる生産効率の向上に取り組み、着実に成長を続けてまいります。

[組織運営]

組織改革・業務改革の 推進

新セグメント会計への対応を踏まえた組織改革(2009年12月1日付)をスタートに、コスト構造の見直しを含む業務効率化の推進に取り組んでまいります。

※Sはソリューションの略

【連結（億円）】	実績	新中期経営計画期間		
	2009年 11月期	2010年 11月期	2011年 11月期	2012年 11月期
売上高	221.8	230.0	272.0	300.0
営業利益	5.4	11.0	13.5	17.5
営業利益率	2.4%	4.8%	5.1%	5.9%
当期純利益	-9.7	8.0	10.0	13.5
当期純利益率	-4.4%	3.5%	3.8%	4.6%
EBITDA (営業利益+減価償却費)	14.0	18.0	20.0	23.5

※2009年11月期は仮定を置いて算出した参考数値です。

売上高内訳

セグメント	2009年 11月期	2010年 11月期	2011年 11月期	2012年 11月期
デジタルS	100.7	99.5	122.0	135.0
インダストリアルS	49.0	58.0	69.0	80.5
リサイクルS	22.6	25.0	30.5	34.0
プリフォームS	48.1	45.5	48.0	48.0
その他・消去	1.4	2.0	2.5	2.5
合計	221.8	230.0	272.0	300.0

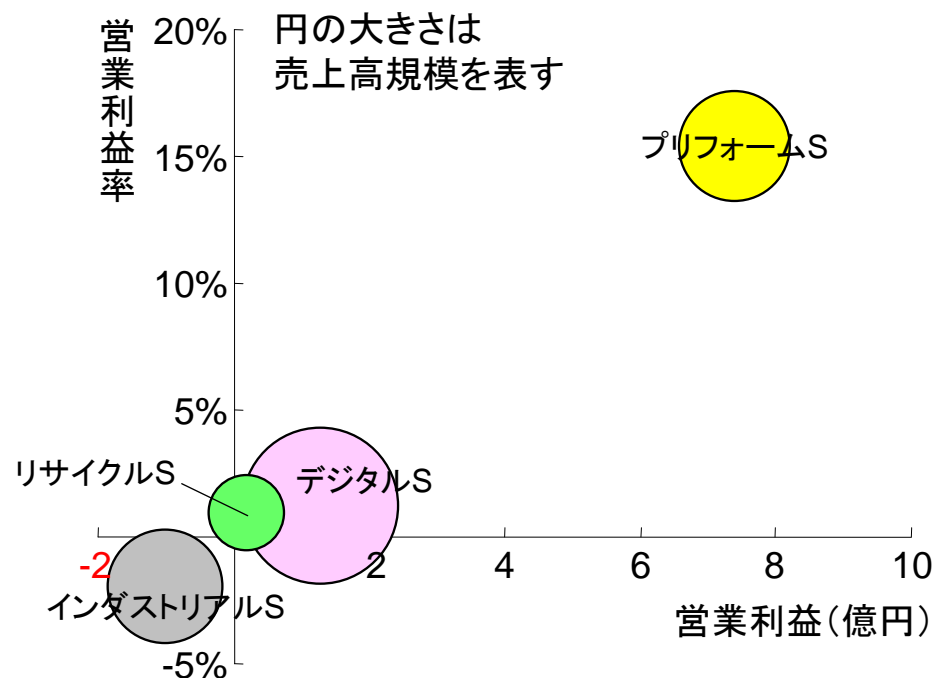
営業利益内訳

セグメント	2009年 11月期	2010年 11月期	2011年 11月期	2012年 11月期
デジタルS	1.2	2.7	4.2	6.8
インダストリアルS	-1.0	3.6	2.8	3.8
リサイクルS	0.2	0.8	1.3	1.5
プリフォームS	7.4	7.0	7.9	7.9
その他・消去	-2.4	-3.1	-2.7	-2.5
合計	5.4	11.0	13.5	17.5

新中期経営計画の最終年度となる2012年11月期には、営業利益17.5億円、当期純利益13.5億円を達成する計画です。

2009年11月期実績

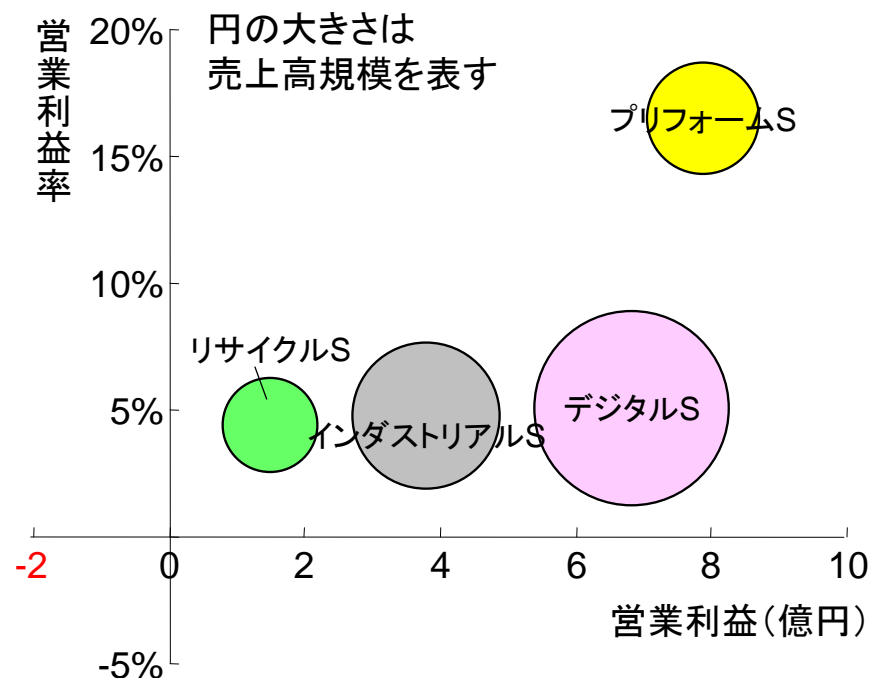
※Sはソリューションの略



※2009年11月期は仮定を置いて算出した参考数値です。

2012年11月期計画

※Sはソリューションの略



※プリフォームソリューションセグメントについては、現段階で既に決定している案件以外の、設備投資および効果は含んでおりません。

プリフォームソリューションセグメントで着実に営業利益を上げる一方で、卸売事業が中心である4つのセグメントを成長軌道に戻し、全セグメントから営業利益を上げるポートフォリオを構築いたします。

セグメント戦略

- 太陽電池関連機器および有機EL関連機器（いずれも主に成膜・検査機器）という、成長が確実視されている2分野に注力し、売上・利益の拡大を狙います。
- パッケージ事業は、DVD/BDケースの製造委託先を海外に移行していくことにより、販売単価は下がっていくものの、販売数量確保と自助努力により、利益水準を維持してまいります。
- 大きな成長の見込めない分野では、経営リソース再配分などオペレーション効率化を遂行し、着実に営業利益を生む体制を作り上げてまいります。



Amaray DVDケース

結晶太陽電池セル用
高速反射防止膜成膜装置 有機EL膜厚測定装置

計画数値

※2009年11月期は仮定を置いて算出した参考数値です。

	実績	新中期経営計画期間		
(億円)	2009年 11月期	2010年 11月期	2011年 11月期	2012年 11月期
売上高	100.7	99.5	122.0	135.0
営業利益	1.2	2.7	4.2	6.8
営業利益率	1.2%	2.7%	3.4%	5.0%

太陽電池関連機器、有機EL関連機器などの成長分野への注力と、オペレーション効率化により、営業利益を創出する計画です。

セグメント戦略

- 印刷・包装関連分野については、高成長は難しいものの、当セグメントのベースとなる安定した売上・利益を創出する計画です。
- 高成長の期待できる自動車部品成型関連機器(主に軽量化ガソリンタンク製造用設備)や燃料・太陽電池関連機器(主に部品製造機器)などのエコカー・環境関連分野に注力し、成長を狙います。
- 医薬・医療・化粧品関連機器や食品製造加工関連機器においても、高成長の期待できる商品があり、経営リソースを最適に配分することにより確実にシェアを高めてまいります。



デジタル印刷機



プラスチック燃料タンク・ブロー成形機



シリンジ充填機

計画数値

※2009年11月期は仮定を置いて算出した参考数値です。

	実績	新中期経営計画期間		
(億円)	2009年 11月期	2010年 11月期	2011年 11月期	2012年 11月期
売上高	49.0	58.0	69.0	80.5
営業利益	-1.0	3.6	2.8	3.8
営業利益率	-2.0%	6.2%	4.1%	4.7%

※35期は比較的利益率の高い商品の売上計上が決まっており、36期および37期よりも高い営業利益率を計画しております。

印刷・包装関連分野での安定した売上・利益創出と、エコカー・環境関連分野での成長により、着実に数億円の営業利益を創出する計画です。

セグメント戦略

- 現在、リサイクルパレット市場で7割以上のシェアを持っていますが、引き続き、環境問題への対応とコスト削減の両方を迫られている顧客のニーズに対応してまいります。
- 原料およびリサイクルパレット製品に対する研究開発を強化してまいります。
- 国内で構築したリサイクルパレット事業の仕組みを海外へ水平展開し、売上・利益の拡大を狙います。



リサイクルパレット



プラスチック再生機



廃棄プラスチック回収

計画数値

※2009年11月期は仮定を置いて算出した参考数値です。

	実績	新中期経営計画期間		
(億円)	2009年 11月期	2010年 11月期	2011年 11月期	2012年 11月期
売上高	22.6	25.0	30.5	34.0
営業利益	0.2	0.8	1.3	1.5
営業利益率	0.9%	3.2%	4.3%	4.4%

環境問題への対応およびコスト削減の両方を迫られている顧客のニーズに対応していくことで、事業拡大を図ってまいります。

セグメント戦略

- 2010年11月期は数量増が見込めるものの、価格改定によって販売単価減が予想されます。よって、売上成長は見込めませんが、着実に利益を創出いたします。
 - 特に中国飲料市場の拡大によるペットボトル需要の伸びが予想されることから、投資効率性を重視した適切な設備投資を実行し、その成長機会を活かしてまいります。
- ※右計画数値は、現段階で既に決定している案件以外の、設備投資および効果は含んでおりません。
- 工場稼働率を始めとする生産効率の更なる向上に取り組んでまいります。



ペットボトル用プリフォームとペットボトル

当社グループの収益柱であり続けるとともに、中国飲料市場の成長を冷静に見極めて適切な設備投資を行うなど、今後の成長の種を蒔くことも検討しております。

計画数値

※2009年11月期は仮定を置いて算出した参考数値です。

	実績	新中期経営計画期間		
(億円)	2009年 11月期	2010年 11月期	2011年 11月期	2012年 11月期
売上高	48.1	45.5	48.0	48.0
営業利益	7.4	7.0	7.9	7.9
営業利益率	15.4%	15.4%	16.5%	16.5%

その他の取組み	内容
<p>執行役員制度の導入 (2010年2月24日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 経営の意思決定機能と業務執行機能を分離することにより、役割と責任を明確化し、それぞれの機能強化をはかるべく、執行役員制度を導入いたしました。
<p>経営企画、IR機能の強化 (2010年2月24日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 目まぐるしく変わる経営環境下においても、より迅速に意思決定を行える体制を構築するため、経営企画機能を強化いたしました。 顧客、市場とのコミュニケーションのより一層の充実を目指し、広報・IR機能を強化いたしました。
<p>間接経費の低減</p>	<ul style="list-style-type: none"> 間接部門について、連結子会社も含めたグループ横断的なオペレーションの効率化、人員の最適配置を実施してまいります。 その他、本社フロアの削減など、あらゆる経費の低減可能性について検討・実施してまいります。

機動力重視の経営体制への変更、間接経費低減による利益創出ハードルの引き下げなどにより、新中期経営計画達成を確実なものとしてまいります。

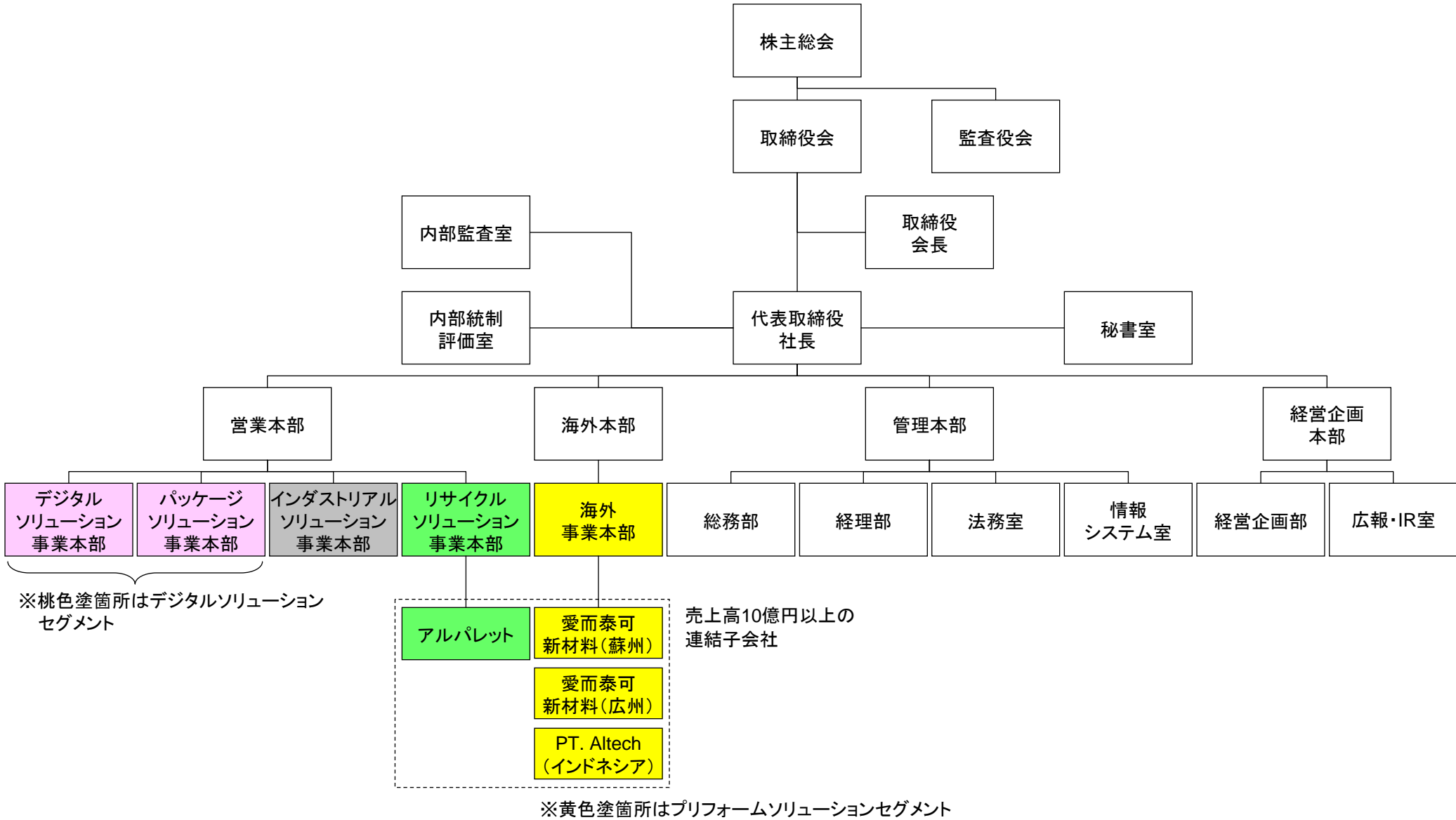
APPENDIX

【参考】グループ事業区分の変更 ～詳細

現在の事業区分	分野	該当する単体の事業本部	該当する連結子会社 ※(持)は持分法適用関連会社	新事業区分	該当する単体の事業本部	該当する連結子会社 ※(持)は持分法適用関連会社
卸売事業	産業機械・機器分野	<ul style="list-style-type: none"> デジタルS事業本部 パッケージS事業本部 インダストリアルS事業本部 リサイクルS事業本部 海外事業本部※ 	<ul style="list-style-type: none"> アルテック・エンジニアリング 愛而泰可貿易(上海) Altech Asia Pacific(タイ) (持)エスコグラフィックス 	デジタルソリューションセグメント	<ul style="list-style-type: none"> デジタルS事業本部 パッケージS事業本部 	<ul style="list-style-type: none"> アルテック・エンジニアリング D-TECH (持)Bio Navis
	産業資材分野	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルS事業本部 		インダストリアルソリューションセグメント	<ul style="list-style-type: none"> インダストリアルS事業本部 	<ul style="list-style-type: none"> 愛而泰可貿易(上海) Altech Asia Pacific(タイ) アルテック・エンジニアリング (持)エスコグラフィックス
	メディアパッケージ分野	<ul style="list-style-type: none"> パッケージS事業本部 		リサイクルソリューションセグメント	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルS事業本部 	<ul style="list-style-type: none"> アルパレット
	その他の分野	<ul style="list-style-type: none"> デジタルS事業本部 リサイクルS事業本部 	<ul style="list-style-type: none"> アルテックアイティ D-TECH (持)Bio Navis 	プリフォームソリューションセグメント	<ul style="list-style-type: none"> 海外事業本部※ 	<ul style="list-style-type: none"> 愛而泰可新材料(蘇州) 愛而泰可新材料(広州) PT. ALTECH(インドネシア) (持)愛而泰可新材料(深圳)
製造事業	食品・飲料容器分野		<ul style="list-style-type: none"> 愛而泰可新材料(蘇州) 愛而泰可新材料(広州) PT. ALTECH(インドネシア) (持)愛而泰可新材料(深圳) 	その他		<ul style="list-style-type: none"> アルテックアイティ
	その他の分野		<ul style="list-style-type: none"> アルパレット 			

※海外事業本部は、主に国内顧客に対するプリフォームとプリフォーム成形機の卸売事業を行っています。
 ※事業本部の名称につき、ソリューションはSと略しております。

【参考】新組織図(2010年2月24日付)



新事業区分	説明	主な取扱商品群	
<p style="text-align: center;">デジタルソリューションセグメント</p>	<p>右商品群の仕入・販売・コンサルティング</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 光メディア製造関連機器 • 薄膜成膜・検査関連機器 <ul style="list-style-type: none"> - 太陽電池関連分野 - 有機EL関連分野など • 電子化関連機器・サービス • セキュリティ関連機器 • ICカード・タグ関連機器 • デジタルプリンタ関連機器 	<ul style="list-style-type: none"> • 3Dプリンタ関連機器 • ナノテクノロジー関連機器 • DVD/BDケース • 特殊包装関連機器 • 帯電防止剤関連機器 • OPPフィルム(軟包装材フィルム) • パッケージデザインなど
<p style="text-align: center;">インダストリアルソリューションセグメント</p>	<p>右商品群の仕入・販売</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ラミネートチューブ製造関連機器 • フレキシソ・グラビア印刷関連機器 • デジタル印刷関連機器 • ポリマープロセス関連機器 • 自動車部品成型関連機器 • 医薬・医療・化粧品関連機器 • 飼料製造関連機器 • 食品製造加工関連機器 	<ul style="list-style-type: none"> • 燃料・太陽電池関連機器 • 水処理関連機器など
<p style="text-align: center;">リサイクルソリューションセグメント</p>	<p>右商品群の仕入・製造・販売</p>	<ul style="list-style-type: none"> • リサイクルパレット • 自動選別機 • プラスチックフィルムの再生機 • プラスチック再生機 	<ul style="list-style-type: none"> • 廃棄プラスチック回収など
<p style="text-align: center;">プリフォームソリューションセグメント</p>	<p>右商品群の製造・販売</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ペットボトル用プリフォーム • ペットボトル • プラスチックキャップ • 飲料・ペットボトル製造関連機器など 	
<p style="text-align: center;">その他</p>	<p>右のサービス提供・販売ほか</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 情報処理システム • ソフトウェアの開発 	

当資料に記載しております当社グループの計画は、発表日時点において把握できる情報をベースとした、当社の経営判断に基づいています。あくまでも将来の計画であり、「事業環境を取り巻く経済動向の変動」「為替の変動」「資本市場における相場の大幅な変動」他、様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性があることにつき、予めご承知おきいただきますようお願い申し上げます。

【問合せ先】

アルテック株式会社

取締役経営企画本部長 木根 遡 明

〒160-0007

東京都新宿区荒木町13-4 住友不動産ビル

TEL: 03-5363-0922(直通) FAX: 03-5363-0942